

自立支援プログラム

生徒の自立

社会性の育成

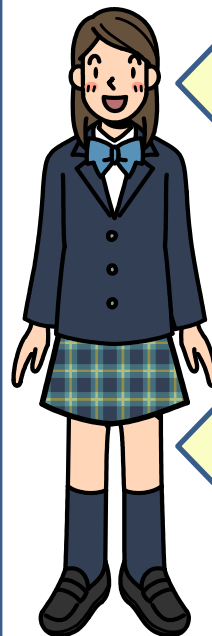
基礎学力の育成

〔個別〕
COM講座
個の課題に応じて
自主的に

〔集団〕
LHR活動
具体的・体験的
気づき



自立
に
向
け
て



〔個別〕
スタディルーム
個の課題に応じて
自主的に

〔集団〕
授業のなかで
わかる授業
学ぶ楽しさ

※ COM:コミュニケーション講座

- 1 現状把握 2015年度(昨年度)
- (1) 生徒実態調査
 - (2) 教職員アンケート
 - (3) スクールソーシャルワーカー活用アンケート

- 2 自立支援プログラム 2016年度(本年度)
- (1) 学力保障グループ
 - (2) 社会性グループ

- 3 地域連携プログラム 2017年度(次年度)
- (1) SSWによる地域連携
 - (2) DACや生徒会活動
 - (3) 大学との連携等

2015年度生徒実態調査の結果から

- 自己肯定感が低い
- 自分なりの人生があっていい(自己受容)
* 両義性(+・-)
- コミュニケーションを大切にしている
- 学校生活・進路への期待

2015年度教職員アンケートの結果から

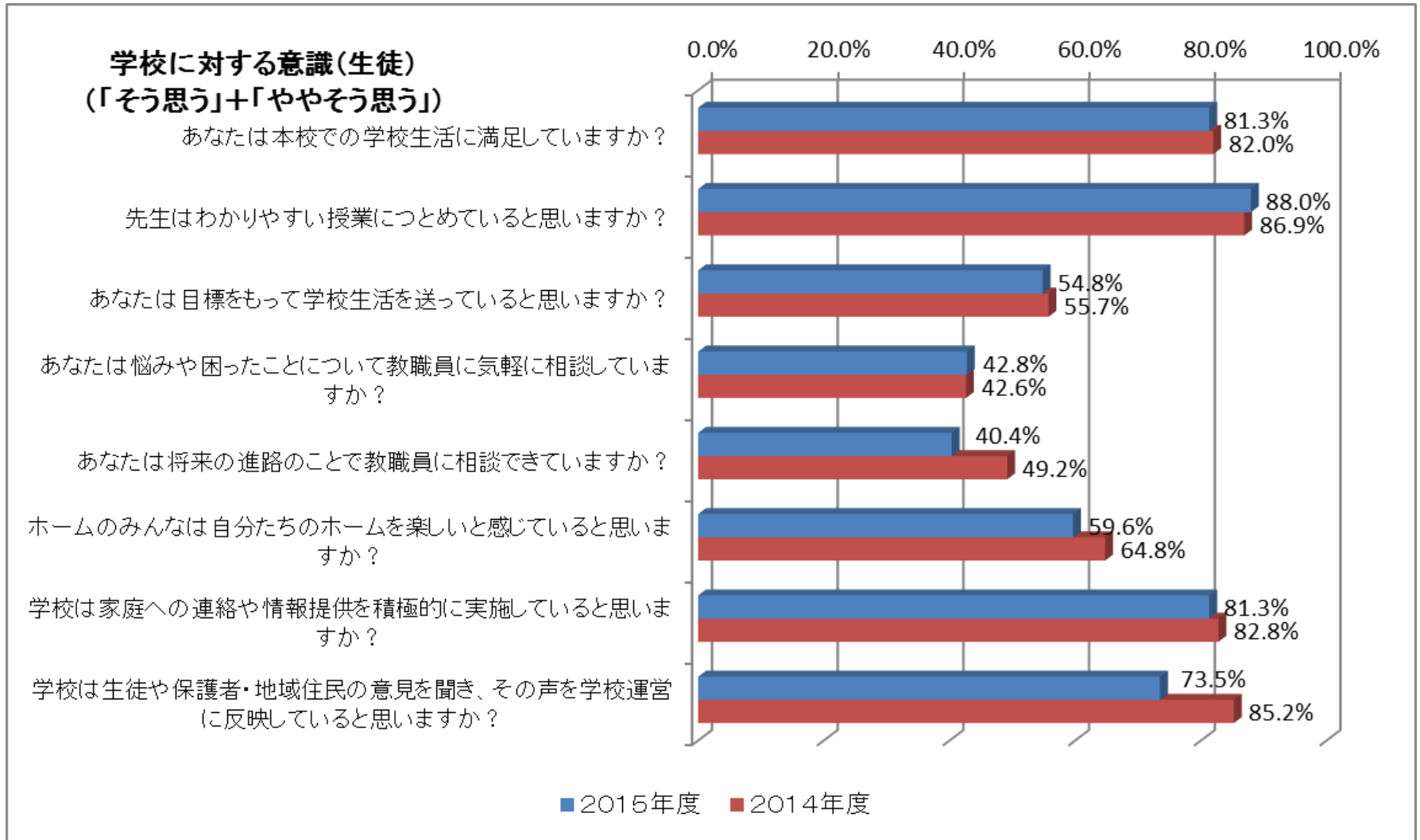
生徒が自立していくためには

- 基礎学力
 - コミュニケーション力
 - 社会的スキル
 - 自己肯定感
- (社会の中で前向きに生きていこうとする力)



自立支援プログラム・地域連携プログラム

学校評価の結果



2016年度生活アンケート(進路)

	年度	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
1, 進路を決めている *	2015	254	2.587	1.1620	.0729
	2016	251	2.801	1.0845	.0685
2, 将来を考えることがある *	2015	254	2.764	1.1243	.0705
	2016	251	3.000	.9550	.0603
3, 夢や目標を持っている	2015	254	2.591	1.1852	.0744
	2016	251	2.661	1.0885	.0687
4, 努力している	2015	254	2.543	1.0762	.0675
	2016	251	2.562	1.0541	.0665

進路について、年次によるt検定を行った。有意水準5%で有意差は認められた項目は、1と2である。
いずれも2016年度の方が高い数値となっている

基礎学力の育成

学力保障の取り組み

1 授業改善の取り組み

～参加型授業、AL(アクティブラーニング)、
構造化等の視点から

2 学習支援の取り組み

～進学補習・スタディールームを中心に～

参考：アクティブ・ラーニングとは（文部科学省）

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

→「学力の三要素」

- ①基礎的・基本的な知識・技能
- ②それらを活用する思考力・判断力・表現力
- ③主体的に学習に取り組む態度

→「主体的・対話的で深い学び」

1 授業改善の取り組み

- 2004年度～学校改革:特別支援教育に関する校内研修
- 2009年度～高知大学教育学部と「学習支援に関する共同研究」(研究代表者・加藤誠之准教授):日常の授業に大学院生・大学生が学習支援員として生徒への学習支援を行う
- 2012年度～「学習支援員」制度:継続的に日々の授業に支援に入る、定期的なケース検討会、学習支援レポート集の発行
- 2014年度～「協同学習」、ICTの積極的活用(デジタル教科書やiPad、実物投影機等)

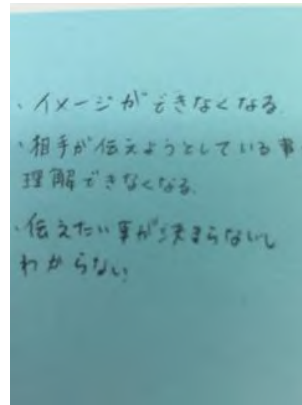
学習支援員制度

- 学習支援の共有 「学習支援記録」の共有、「レポート集」の発行
- 学習支援員対象の研修 2016年4月15日(金)、10月2日(日)



(1) 国語科

- **ICTの活用** ワークシートをPDF化しiPad・プロジェクターで投影
- 自由記述問題の解答をポストイットカードに記入
- スクリーンで投影
- **「学び合い」**、自由席、グループ学習・個人学習両方のニーズに対応、学習支援員のかかわり



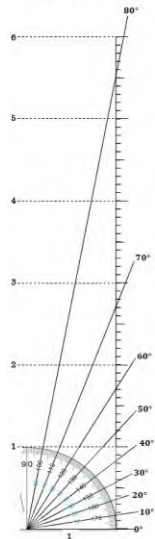
(2) 地歴公民科

- 「学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」をもとに、GROWモデルを意識した学習スタイル
- R(Reality)「興味のあるページにしるしをつけましょう」からスタート
- 「なぜ」はGROWモデルのW(Why)を活用する。
また、RはR(Resource)でもあることから現状把握で棚卸できた生徒の「興味があるもの」や「好きなもの」がその生徒のR(Resource)資源だったり、強みであることをフィードバックし自己肯定感や自尊心へのアクセスもおこなった。

(3) 数学科

- 「三角比」の単元
- 電卓の使用: 分数ではなく小数で三角比の値を表現
- 三角比を 現実世界に根拠を持つ量 として見る事ができるように
- 定規の使用、作業をグループで行う ことにより、いろいろな場合に定理が成り立つことを確認

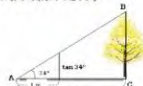
題1 定規の面からたての直線を曲めながら、 $\tan \theta$ の値を定規の2枚まで求めてください。また、教科書裏表紙の角度の三角比の値を見ながらの値を求めてください。



θ	$\tan \theta$	三角比の値の書
0°		
10°		
20°		
30°		
40°		
50°		
60°		
70°		
80°		

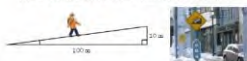
題2 学校に設置のカメラの木の影の長さを測ってから18mでした。また、影の先端から木のてっぺんを見上げると仰角は 34° でした。木の曲いに従ってください。

(1) $\tan 34^\circ$ の値を三角比の書から求めてください。



(2) $\tan 34^\circ$ の値を使って、木の高さの長さを求めてください。(1)の値と $\tan 34^\circ$ とから18m高さを求めた高さの長さを求めなさい。

題3 空海集小乗寺にある「高僧塔」には、塔頂のような構造があります。この塔頂の傾斜は角度にするか何度になりますか。(10mは10m高さと10m幅の10m高さとという構造です)



(4)理科

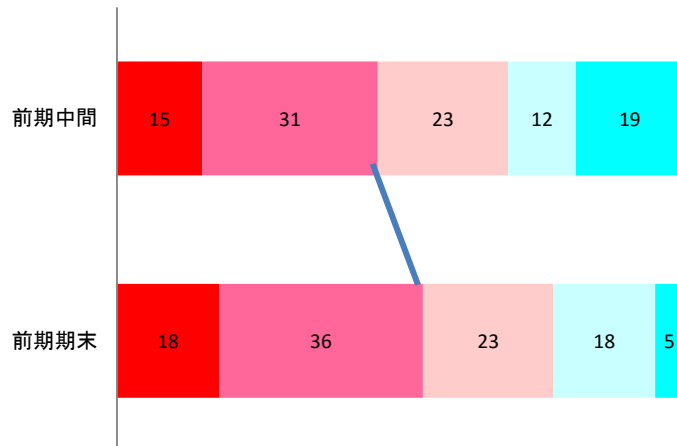
- 単元 地震による景観、火山の景観と災害
- インターネットを活用し、各々太陽系の惑星について調べ、その後班に分かれて意見交換し、各惑星についてまとめた。
- また、高知県庁のホームページを紹介し、南海地震に対する県の取り組みや対策、実際の住居周辺の予測震度、予測津波到達時間や避難場所を検索し近くの席の生徒同士で意見交換を行った。

(5) 英語科

- グループワークの授業
- 興味のある国について調べまとめ、教室に掲示
- 文法を自分たちの生活につなげる単語を繰り返し使う
- 各生徒が自分で使いたい語句を選んで一文を作成
- アンケート結果

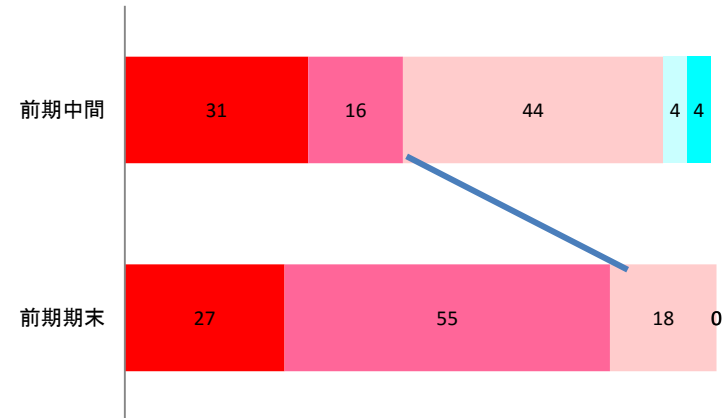
(1) 英語に興味はありますか？

■ すごく思う ■ そう思う ■ 普通 ■ あまり思わない ■ 思わない



(4) グループ活動は有意義だと思いますか？

■ すごく思う ■ そう思う ■ 普通 ■ あまり思わない ■ 思わない



(6) 保健体育科

- 心と身体の一体化(自分の筋力や可動範囲の認識)
- スポーツテストの実施:本校生徒に合ったオリジナル
- 俊敏性・持久力・バランス性・柔軟性・筋力の5項目
- 2人以上のグループで実施者・測定者としてお互いの測定結果について会話しながら行う
- 生徒たちにとって人と関わるきっかけとなった

(7) 書道

- 将来にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、書写能力の向上を図り、他の生徒作品を鑑賞することにより、表現能力を伸ばす
- 中学校までの習字から書道への移行。漢字の書(楷書・行書・草書・隸書の臨書)。仮名の書(いろはから色紙へ。色紙の作品は高校書道展(高文祭)へ出品)。篆刻。創作(各自、自分で好きな文字、書体を考え書く)
- 他の生徒の作品と自分の作品を鑑賞し合うことにより、各自それぞれ工夫ができるようになった

(8) 社会福祉入門

1「どうする太平洋学園」

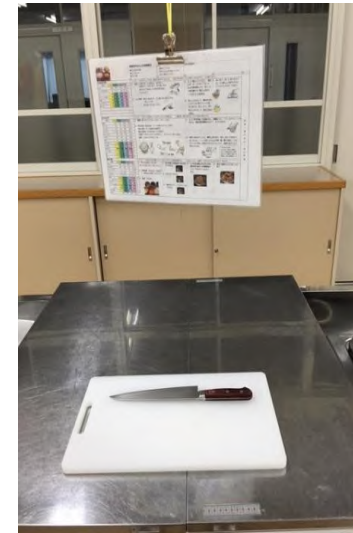
- 質問「250人の避難者に対して50個のおにぎりしかない。次の食料はいつくるかわからない」について考える
- →「公平」と「公正」について説明

2「自分とその周りの人の命をつなぐために今できること」

- 避難生活について
- 「小さな備蓄」: 1リットルの容器を例に出し、この中に出来るだけ入るものを考えよう(グループワーク)
- 女性や高校生という自分の立場から考えられた意見が多く見られた

(9) フードデザイン

- 目標:「レシピを見て作業手順がイメージでき、調理できる(家庭でも実践できる)ようになること」・「グループのコミュニケーションの活発化」
- グループの構成人数(3~4名)を伝え、生徒たちでメンバーを決めた(生徒同士のコミュニケーションを取りやすくするため)
- 実習を通し、コミュニケーションがほとんどとれていなかったグループ内で、野菜の切り方などを教え合う姿が見られるようになった。



(10)バンド実技演習

- 生徒それぞれが楽器について考える時間を設ける
- 練習していく楽器が決まり、パートごとの練習
- 各パートがグループとなるよう場所を設け練習
- 他のパートと同時に演奏してみる
- 実技参加型の授業、生徒は自発的に興味を持ち、考え、選ぶことができる
- 上手な友達に教えてもらおう、といったコミュニケーションや向上心

(11) 産業社会と人間

- 主権者教育(模擬選挙)
 - 1「選挙制度ガイダンス」
 - 2「マニフェスト分析」政策を個人で分析し、グループで各政党ごとにまとめていく
 - 3「模擬投票」(比例代表)
- 模擬選挙ネットワーク、高知市選挙管理委員会の協力
- 政治的教養を育む教育の必要性(シティズンシップ教育)



高知大学学生団体「からふるカンパニー」による授業

和歌

社会

新聞

2017年(平成29年)1月26日(木曜日) 社会 2 ☆ (28)

「貧困の連鎖断とう」

高校生と高意見交換 高校向け啓発書作成へ

高知大サークル

サークルは「からふるカンパニー」(代表、中居夕夏さん)と教育学部3年生、30人。2011年に結成し、これまで「子どもたちの心

「子どもの貧困」解消へ、高知大の学生サークルが取り組みを進めている。そもそもは親の貧困。助けを求められる親になろう」と、春にも各種相談先を記した高校生向けリーフレットを作成。25日には準備として、高知市栄田町の太平洋学園高校で1年生とワークショップを開き、「お金がなくて将来の夢がかなえられそうにない時、どうする?」などと質問し、意見を聞いた。(塚地和久)

を支える、意欲を高め「もたらす貧困の解消」することを主眼に、高をテーマに設定。「社会知市内の2小学校で放課後学習室を運営。3年生は毎年度、イラストをふんだんに使った算数問題集などの小学生用教材も作ってきた。

16年度の3年生7人は「意欲の低下などを



高1生の意見を聞く高知大の学生サークル「からふるカンパニー」のメンバー(中央)

(25日前、高知市の太平洋学園高)

と、高校生向けのリーフレットを発行することにした。

この日のワークショップは、同サークルなどの大学生13人が開催。高1生約50人と11の班に分かれ、「お金がなくて進路に悩んでいる」「バイトの悩み」妊娠した/させた」のうち一つについて話し合った。

「進路に悩んでいる」の班では、高1生たちが「声優」「栄養士」などと夢を発表。そのためには「高校卒業後も進学」学費がいる「都会に出れば1人暮らしの費用も」とも。大学生は「奨学金が借りられる」「先に働いて、貯金してから大学に来た人もいる」とアドバイスしていた。

同高校の教員は「生徒たちにとって身近な『困りごと』。それを考えるいい機会になった」と評価。中居代表は「困ったところに相談したらいいか、少しでも覚えてくれたら。質問ももらったので、それを基にQ&Aのコナーも設けたい」と、5月までにリーフレットを完成させよう」と意気込んでいた。

(12) 総合的な学習の時間

- 「コケ玉作り」
- 生徒全員が方法手順を理解できるようプリントを配布し、作業の流れを実演しながら説明
- 参加生徒全員が積極的に活動
- 作業しづらい部分では手伝い合ったり、お互いの出来映えについて意見を言い合ったりする場面もあった



授業アンケート① 2016年12月、定時制課程にて実施

教科と（１）教科への興味はあるか？のクロス表

			（１）教科への興味はあるか？					合計
			全くない	あまり興味ない	ふつう	まあ興味ある	とても興味がある	
教科	国語	度数	7	7	25	19	6	64
		教科の%	10.9%	10.9%	39.1%	29.7%	9.4%	100.0%
	地歴公民	度数	1	5	24	12	6	48
		教科の%	2.1%	10.4%	50.0%	25.0%	12.5%	100.0%
	数学	度数	6	3	37	9	7	62
		教科の%	9.7%	4.8%	59.7%	14.5%	11.3%	100.0%
	理科	度数	7	13	40	20	5	85
		教科の%	8.2%	15.3%	47.1%	23.5%	5.9%	100.0%
	英語	度数	7	1	27	14	7	56
		教科の%	12.5%	1.8%	48.2%	25.0%	12.5%	100.0%
合計		度数	28	29	153	74	31	315
		教科の%	8.9%	9.2%	48.6%	23.5%	9.8%	100.0%

33.3%

授業アンケート②

教科と（２）自分のためになっているか？のクロス表

			（２）自分のためになっているか？						合計
			無回答	全くためになっていない	あまりためになっていない	ふつう	まあためになっている	とてもためになっている	
教科	国語	度数	0	2	6	20	26	10	64
		教科の%	0.0%	3.1%	9.4%	31.3%	40.6%	15.6%	100.0%
	地歴公民	度数	4	2	1	17	15	9	48
		教科の%	8.3%	4.2%	2.1%	35.4%	31.3%	18.8%	100.0%
	数学	度数	4	1	3	27	17	10	62
		教科の%	6.5%	1.6%	4.8%	43.5%	27.4%	16.1%	100.0%
	理科	度数	2	3	3	34	32	11	85
		教科の%	2.4%	3.5%	3.5%	40.0%	37.6%	12.9%	100.0%
	英語	度数	2	3	1	23	16	11	56
		教科の%	3.6%	5.4%	1.8%	41.1%	28.6%	19.6%	100.0%
合計		度数	12	11	14	121	106	51	315
		教科の%	3.8%	3.5%	4.4%	38.4%	33.7%	16.2%	100.0%

49.9%

授業アンケート③

教科とALのクロス表

			AL			合計
			無回答	はい	いいえ	
教科	国語	度数	13	32	19	64
		教科の%	20.3%	50.0%	29.7%	100.0%
	地歴公民	度数	15	7	26	48
		教科の%	31.3%	14.6%	54.2%	100.0%
	数学	度数	10	24	28	62
		教科の%	16.1%	38.7%	45.2%	100.0%
	理科	度数	12	49	24	85
		教科の%	14.1%	57.6%	28.2%	100.0%
	英語	度数	7	27	22	56
		教科の%	12.5%	48.2%	39.3%	100.0%
合計		度数	57	139	119	315
		教科の%	18.1%	44.1%	37.8%	100.0%

44.1%

授業アンケート④

教科と（５）グループ学習は有意義か？のクロス表

			（５）グループ学習は有意義か？					合計
			全く思わない	あまり思わない	ふつう	そう思う	とても思う	
教科	国語	度数	2	1	17	9	3	32
		教科の%	6.3%	3.1%	53.1%	28.1%	9.4%	100.0%
	地歴公民	度数	0	0	4	0	3	7
		教科の%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	42.9%	100.0%
	数学	度数	0	2	10	5	7	24
		教科の%	0.0%	8.3%	41.7%	20.8%	29.2%	100.0%
	理科	度数	0	4	27	14	4	49
		教科の%	0.0%	8.2%	55.1%	28.6%	8.2%	100.0%
	英語	度数	0	0	14	8	5	27
		教科の%	0.0%	0.0%	51.9%	29.6%	18.5%	100.0%
合計		度数	2	7	72	36	22	139
		教科の%	1.4%	5.0%	51.8%	25.9%	15.8%	100.0%

41.7%

学習支援員の活動についての生徒アンケート結果①

質問1 満足度 平均:71.8/100
(1年次:70.2、2年次:73.9)

質問2 学習支援員に親しみがもてるか

年次と質問2のクロス表

			質問2					合計
			無回答	もてない	あまりもてない	少しもてる	大いにもてる	
年次	1年次	度数	0	3	7	22	17	49
		年次の%	0.0%	6.1%	14.3%	44.9%	34.7%	100.0%
	2年次	度数	1	4	4	17	12	38
		年次の%	2.6%	10.5%	10.5%	44.7%	31.6%	100.0%
合計		度数	1	7	11	39	29	87
		年次の%	1.1%	8.0%	12.6%	44.8%	33.3%	100.0%

78.1%

自由記述回答の紹介

悩みの相談にのってくれたり、とても親身になってくれるから

学習支援員の活動についての生徒アンケート結果②

質問4 学習支援員はていねいに教えてくれているか

年次と質問4のクロス表

			質問4					合計
			無回答	全く感じない	あまり感じなかった	まあまあ感じる	とても感じる	
年次	1年次	度数	2	1	4	15	27	49
		年次の%	4.1%	2.0%	8.2%	30.6%	55.1%	100.0%
	2年次	度数	1	2	2	17	16	38
		年次の%	2.6%	5.3%	5.3%	44.7%	42.1%	100.0%
合計		度数	3	3	6	32	43	87
		年次の%	3.4%	3.4%	6.9%	36.8%	49.4%	100.0%

86.2%

学習支援員の活動についての生徒アンケート結果③

質問6 学習支援員とのかかわりをとおして、学校生活をがんばってみようという気持ちになったか

年次と質問6のクロス表

	質問6						合計	
	無回答	全くならな かった	あまりならな かった	どちらともい えない	少しなった	とてもなった		
年次 1年次	度数	1	1	5	15	20	7	49
	年次の%	2.0%	2.0%	10.2%	30.6%	40.8%	14.3%	100.0%
2年次	度数	1	6	1	11	10	9	38
	年次の%	2.6%	15.8%	2.6%	28.9%	26.3%	23.7%	100.0%
合計	度数	2	7	6	26	30	16	87
	年次の%	2.3%	8.0%	6.9%	29.9%	34.5%	18.4%	100.0%

52.9%

自由記述回答の紹介

年が近いというのもあって話が合う時もあり、とても楽しく学校生活を送れたと思う、学習支援員はこれからも続けてほしい

成 果

- AL(アクティブラーニング)、グループ学習の活用:他者とかかわること、コミュニケーションや向上心
- 現実世界に根拠を持つ、生活にねざした学習内容
- 本校生徒の課題から出発した授業
- ICTの活用:生徒が主体的に学ぶ時間の確保
- 授業の構造化、手順・方法などの共有、学習支援員の効果的活用

課題

- ALのための話し合い(議論)の基礎的方法
- まとめの段階でお互いに意見交換ができるような方向付け
- 学び合いのできる課題の開発
- 学力差への対応
- 学んだことのフィードバック
- チャレンジしようと思える環境づくり

2 学習支援の取り組み

(1) 進学補習

- 進学補習：年間(前期・後期)の毎週金曜日放課後と長期休業中(夏期・冬期)に実施(定時制・通信制)
- 上級学校進学希望者を対象として入試対策を行う「進学補習」と、授業の復習や小中学校の学習内容の復習を中心に行う「基礎学力補習」の2教室
- どちらも希望者による自主参加、進路担当教員・大学院生・大学生による学習支援員とが担当

- 進学補習：センター試験や大学・短大・専門学校の推薦・一般入試対策、各種検定対策
- 1年次あるいは2年次から継続的に参加している者も多数
- 英検準2級や漢検2級の合格者、大学一般入試合格者も
- 基礎学力補習：授業のプリント等の復習を中心に、必要な生徒に対しては、小中学校レベルの基礎的な漢字の読みや計算問題などの学習も、通信制課程のレポートの支援
- 1・2年次生の参加が多く、学習の合間に参加者どうしで雑談をしたり、学習支援員との会話を楽しむ

- 原則として希望者による自由参加だが、普段の授業において学習に困難を持っている生徒に対して、担任や授業担当者が補習への参加を強くすすめた結果、参加した生徒もいる
- 本校の卒業生で、現在上級学校に在籍しているが、そこでの学習に困難を感じ、基礎的な事項を復習したいということで参加した者も数名いる
- →進学補習、基礎学力補習における生徒の学びのニーズは極めて多様
- 1対1による個別指導でなければ学習に継続的に取り組むのが難しい者、学習支援員とのかかわりを楽しみに補習に参加する生徒
- 「学習支援記録」の作成、生徒の学習状況の共有

2016年夏期補習の取り組み

英語を専門とする学習支援員の支援のもと、
補習期間の10日間ほぼ英検対策に集中して学習！

受験に必要な理系科目対策に集中して学習！

学習支援員が準備した数学のパズル教材に取り組む！

学習支援員が漢字の「読み」を題材に、ホワイトボード
を活用して具体的な場面を想定した問いを提示！

学習の合間に学習支援員や教員との会話を楽しむ！

2 学習支援の取り組み

(2) スタディルーム

- 2016年度～進学補習日である金曜日に加えて、その他の平日午後に「スタディルーム」という名称で、自主参加の学習の場を開設
(定時制・通信制)
- 「生活に必要な学力」も視野に入れて
- 当初は、生徒が気軽に学習に参加しやすいだろうという判断で、本校の「フリールーム」を会場とした
- しかし・・・

- 2016年度第1回三者協議会（2016年5月26日開催、生徒・保護者・教職員が学校づくりについてともに話し合う場）で、生徒委員からフリールームでの開催についての意見

フリールームではじまった学習について。フリールームで騒いでいてそこで勉強している生徒に（うるさいと）きつく言われたというちょっとしたいざこざがあった。学習の場所を移してほしい。

フリールームの件については、気軽にくつろぎながら勉強という意図もあるが、先ほどの意見のように不都合もある。

- 会場を2階のパソコン室に変更



- スタディールームの運営は、学習支援員の経験を長く持つ本校教員と進路担当教員とが協力して行う
- 年度当初、教材作成のためのエクセル操作法の校内研修
- 生徒が自由にプリントを選んでテイクアウトできるように、ケースを設置
- 具体的な進路希望のニーズに応じた課題を個別に準備し、個別支援も随時行う
- 参加生徒ごとにカルテを作成し、日々の学習内容と取り組み状況について担当教員が毎回記入し、担当教員間で共有

スタディールームについての生徒アンケート結果①

2016年12月実施 回答者数11名

①満足度 平均 **94.1点**

②利用状況

ほぼ毎回	54.5%
週1回程度	9.1%
気が向いたとき	36.4%

③利用目的

授業の予習・復習	0.0%
基礎学力	18.2%
生活に役立つ知識	9.1%
入試や資格試験の学習	36.4%
その他	18.2%

スタディールームについての生徒アンケート結果②

④学習内容

授業の復習	0.0%
スタディールームの課題	45.5%
入試や資格試験の問題	45.5%
その他	9.1%



日常生活に関連した
問題を学ぶことも
例 洗剤の種類

⑤役立っているか

とても思う	81.8%
まあまあ思う	9.1%
あまり思わない	0.0%
まったく思わない	9.1%

2 学習支援の取り組み

(3) ICT活用、標準テスト等

- スタディサプリ(旧受験サプリ・リクルート)の導入
: 受講者9名

→10時間以上視聴 3名



- 基礎力診断テスト(ベネッセ)

の実施: 定時制・年間2回

→23.3%前回より成績UP

今回の学力結果を確認しよう!

ふだんの学習をふりがえて学力アップをめざそう!

国語	数学	英語
154	101	

生活面

教科書

学習時間

今日の結果をふりかえろう

きみのねらえる
上級学校を調べて
目標OTZをきえよう!

きみのねらえる
上級学校を調べて
目標OTZをきえよう!

増えたいOTZ

減らしたいOTZ

目標OTZ

目標OTZ

目標OTZ

2 学習支援の取り組み

(4) 各種検定合格者数(2016年度)

- 日本語検定 準3・3級:19名、準2級:2名
- 語彙・読解力検定 3級:16名、準2級:7名、2級:1名
- ニュース時事能力検定 3級:8名、準2級:1名、2級:1名
- サービス接遇検定 3級:5名
- 書写技能検定 2級:2名、3級:4名
- 英語検定 準2級:1名
- パーソナルカラー検定 2級:1名

★上位級の合格者が増加

成果

- 進学補習やスタディルームにおける生徒と教員の信頼関係
- 上級学校入試対策として受験に必要な教科学習のペースメーカー
- 進学補習やスタディルームが学びなおしの機会
- 生徒どうしのコミュニケーションを求めて参加、学びの場面における協同性
- 学習支援員とのかかわり、「ナナメの関係」、学習支援員という大人である他者が介在することで、生徒どうしの関係性をより促進させることも可能

課 題

- 学習支援を必要としている学習に困難が見られる生徒の参加が、
まだ一部にとどまっていること
- 学習環境の整備、参加する生徒の学習ニーズに応えられるような学習課題の開発、さらには具体的な学習支援の場におけるICT等
の積極的活用
- 進学補習やスタディールームに参加している生徒の学びへの参加
の状況を、本校教職員がより共有すること、教職職員の子ども(生
徒)理解の深化、授業改善

今後の取り組み

- 生活アンケートの集計・分析の結果を生かす
→成果と課題の明確化、とくに学びへの意識、変容の要因・有効な手立てに焦点をあてて
- 授業アンケートの集計・分析の結果を生かす
→学ぶ意欲を高める授業のあり方、参加型授業
本校ならではのAL(アクティブラーニング)の模索・推進
- 特別な支援を要する生徒を含めた様々な学びのニーズに対応した集団(協同)学習・個別学習の充実
→ICTの充実も含め、自立支援のための学び(発達課題)

社会性の育成

自立支援プログラム

生徒の自立

社会性の育成

基礎学力の育成

〔個別〕
COM講座
個の課題に応じて
自主的に

〔集団〕
LHR活動
具体的・体験的
気づき

〔個別〕
スタディルーム
個の課題に応じて
自主的に

〔集団〕
授業のなかで
わかる授業
学ぶ楽しさ

自立に向けて

※ COM:コミュニケーション講座

本校生徒にとっての社会性とは

- コミュニケーション力
- 社会的スキル
- 集団行動

👉 ロングホーム(学校行事)を活用しての
SST (ソーシャルスキルトレーニング)

&

個別SST⇒コミュニケーション講座実践

定時制LH（ロングホーム） において

SST
（コミュニケーションスキル）

- 前期2回、後期2回実施

定時制 前期LH SST計画

1年次	4月14日 (5月25日 7月 6日)	仲間づくり (調理) 自分を知る) いいところさがし
2年次	6月17日 7月13日	自己PR素材集め ホームデー準備
3年次	6月29日 7月 6日	自己PR素材集め 面接対策

定時制 1 年次

• 4月14日

仲間づくり（調理）



○たこ焼き・焼きそば・サラダ・フルーツポンチ
から生徒が自由に選択

○教員の指示はなく生徒同士で、役割分担や調理の
進め方を話し合い料理を作っていく

生徒の感想

- 始める前は不安だったけど、活動している内に楽しくなった
- 活動する前はみんなあまり話さなかったけど、少しずつ会話が増えて、今回の活動は友達をつくる、いいきっかけになったと思います
- 自分と同じ考え方や似た人を見つけることができた

教員の感想

- 目的がはっきりしており、協力して、分け合うことにより、人間関係づくりの良いきっかけとなった

満足度 71点

定時制1年次②

・ 7月6日 いいとこさがし

○自分・家族・友人のいいところを改めて見つめなおす

☆紙に書き出しシェアリングすることで、人間関係づくりに役立てる

テーマ	他の人のいいところを探してみよう										
（テーマ） — 自分・家族・クラスメイトについて —											
ねらい	生徒が、自分自身のよい面や日常生活で保っている周りの人々のよい面を挙げてみることで、新たな発見をするとともに、自分や周りの人に思いをもち、よりよい人間関係作りの一助とする。 悪い面だけを感ずてしまう人に対しても、いいところを見つけ出したり一人の人物として認め、そういう人もいると思える寛容さや、許すことの大切さも必要であることに気付かせる。										
準備	【資料1】 いいところ探し<自分編> 【資料2】 いいところ探し<身近な人編> 【資料3】 いいところ探し<クラスメイト編>										
活動例											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>生徒の活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 自分のいいところをあげる。（資料1）</td> <td>・いいところ探し<自分編>を記入することで、自分のよい面について考えさせる。 ・よい面をさらに増やしていくとともに、自分のことを好きになるように促す。</td> </tr> <tr> <td>2. 身近な人（家族等）一人一人のいいところをあげる。（資料2）</td> <td>・いいところ探し<身近な人編>を記入することで、日常となってしまっている身近な人（家族等）のよい面について考えさせる。家族の中での自分が、家族から愛されていることに感謝することを促す。</td> </tr> <tr> <td>3. クラスメイト一人一人のいいところをあげる。（資料3）</td> <td>・クラスメイト全員で実施することを想定しているが、各クラスの集団に対し、実施方法を変えてもよい。 ・いいところ探し<クラスメイト編>を記入することで、普段同じ教室で過ごしているクラスメイトについて考えさせる。あまり関わりのないクラスメイトについて、生徒さらに興味をもって生活することを促し、よりよい集団作りについて考えさせる。 ・周りの人々を一人の人物として認め、自分と合わない人に対しても寛容な態度をもてることが大切であることを気付かせる。</td> </tr> <tr> <td>4. ホームルームのいいところをあげる。（資料3の後半）</td> <td>・自分の所属しているホームルームについて、よい面を挙げさせ、よりよいホームルーム集団の育成について考えさせる。</td> </tr> </tbody> </table>	生徒の活動	指導上の留意点	1. 自分のいいところをあげる。（資料1）	・いいところ探し<自分編>を記入することで、自分のよい面について考えさせる。 ・よい面をさらに増やしていくとともに、自分のことを好きになるように促す。	2. 身近な人（家族等）一人一人のいいところをあげる。（資料2）	・いいところ探し<身近な人編>を記入することで、日常となってしまっている身近な人（家族等）のよい面について考えさせる。家族の中での自分が、家族から愛されていることに感謝することを促す。	3. クラスメイト一人一人のいいところをあげる。（資料3）	・クラスメイト全員で実施することを想定しているが、各クラスの集団に対し、実施方法を変えてもよい。 ・いいところ探し<クラスメイト編>を記入することで、普段同じ教室で過ごしているクラスメイトについて考えさせる。あまり関わりのないクラスメイトについて、生徒さらに興味をもって生活することを促し、よりよい集団作りについて考えさせる。 ・周りの人々を一人の人物として認め、自分と合わない人に対しても寛容な態度をもてることが大切であることを気付かせる。	4. ホームルームのいいところをあげる。（資料3の後半）	・自分の所属しているホームルームについて、よい面を挙げさせ、よりよいホームルーム集団の育成について考えさせる。
生徒の活動	指導上の留意点										
1. 自分のいいところをあげる。（資料1）	・いいところ探し<自分編>を記入することで、自分のよい面について考えさせる。 ・よい面をさらに増やしていくとともに、自分のことを好きになるように促す。										
2. 身近な人（家族等）一人一人のいいところをあげる。（資料2）	・いいところ探し<身近な人編>を記入することで、日常となってしまっている身近な人（家族等）のよい面について考えさせる。家族の中での自分が、家族から愛されていることに感謝することを促す。										
3. クラスメイト一人一人のいいところをあげる。（資料3）	・クラスメイト全員で実施することを想定しているが、各クラスの集団に対し、実施方法を変えてもよい。 ・いいところ探し<クラスメイト編>を記入することで、普段同じ教室で過ごしているクラスメイトについて考えさせる。あまり関わりのないクラスメイトについて、生徒さらに興味をもって生活することを促し、よりよい集団作りについて考えさせる。 ・周りの人々を一人の人物として認め、自分と合わない人に対しても寛容な態度をもてることが大切であることを気付かせる。										
4. ホームルームのいいところをあげる。（資料3の後半）	・自分の所属しているホームルームについて、よい面を挙げさせ、よりよいホームルーム集団の育成について考えさせる。										

生徒の感想

- ・ 友達のいいところをたくさん見つけられてよかった
- ・ 身近なひとのいいところを探すのは楽しかった

教員の感想

- ・ 自尊感情の低い生徒が多いことが再確認できた
- ・ 伝え合うことの難しさを実感できた

満足度 52点

定時制2年次①

- 6月17日 自己PR素材集め

○自慢したいこと・辛かったこと・直したいところ等、様々な自分に関する項目に記入する

☆自分を見つめなおし、グループでシェアすることにより、他者も理解する

The worksheet is titled "自己PRの材料集め" (Collecting materials for self-PR) and features a central illustration of a rabbit holding a flower. It contains several circular prompts for students to write in:

- 自慢したいこと (Things I'm proud of)
- 趣味好きなこと (Hobbies and things I like)
- 習い事 (Hobbies)
- クラブ・部活・サークル (Clubs, activities, circles)
- 学生時代楽しかったこと (Things I enjoyed in school)
- 自己PRの材料集め (Collecting materials for self-PR)
- 学生時代辛かったこと (Things I found difficult in school)
- 自分のいい所 (My strengths)
- 自分の直したいと思う所 (Things I want to improve)
- やりたい仕事 (Jobs I want to do)
- できなかったことができて、嬉しかったこと (Things I couldn't do before but can now, and I'm happy about)
- 絶対やりたくない仕事 (Jobs I absolutely don't want to do)

Decorative elements include a rabbit illustration, a central flower illustration, and several clover-like plant motifs scattered around the page.

生徒の感想

- ・ 将来について悩んだ時は思い出そうと思った
- ・ 職業の幅が広がった
- ・ 自分のことを知るきっかけになった

教員の感想

- ・ 自分について考え、それを書き出すということを今までしていなかったが、予想以上に熱心に取り組めていた

満足度 63点

定時制2年次②

・7月13日 ホームデー準備

○グループごとに、ホームデーで行くレオマワールドについて調べる

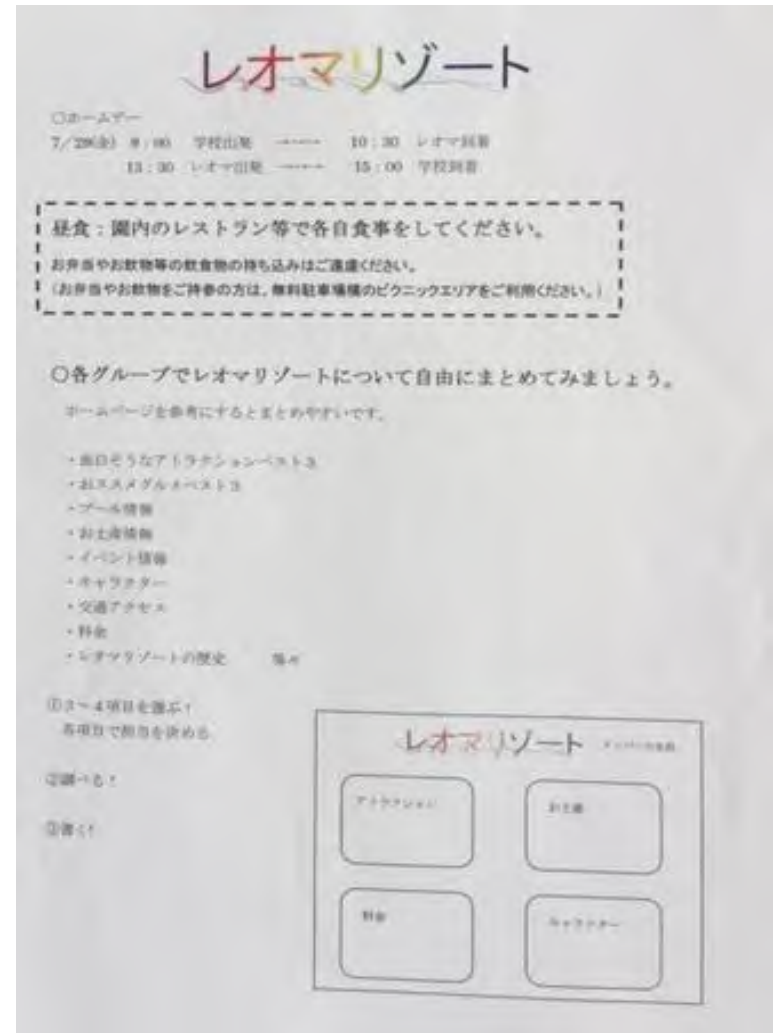


○調べた様々な情報を、グループごとに画用紙にまとめる



○成果物を教室に掲示し、シェアリングする

☆活動を通して、学校行事に主体的に取り組む姿勢を養う



生徒の感想

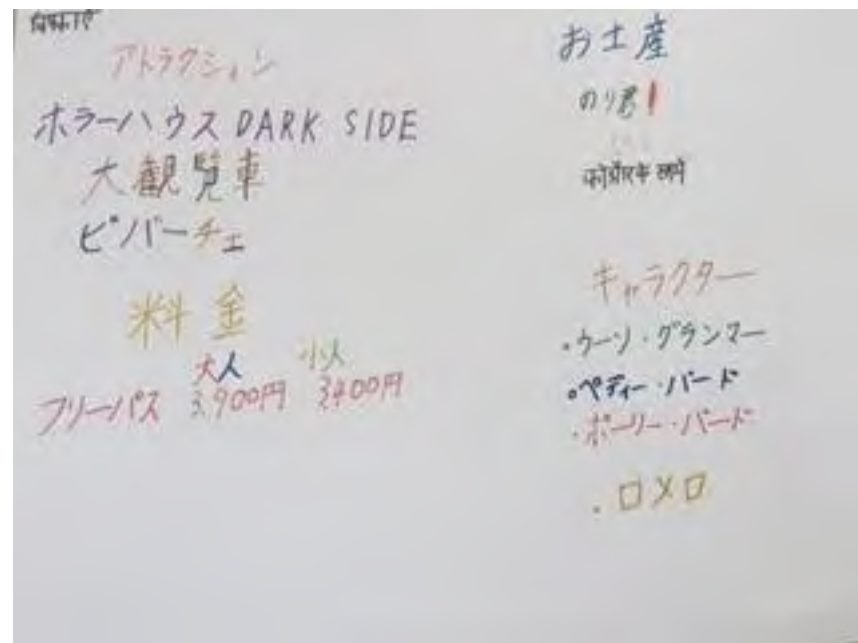
- ・積極的に参加できてよかった
- ・仲間と協力できた
- ・一人一人が真剣に取り組めたから良かった

教員の感想

- ・すべての作業で生徒が自主性を発揮できていた
- ・自分たちで調べることにより、レオマに行くことがすごく楽しみになっていた生徒もいた

満足度

68点



定時制3年次①

・ 6月29日 自己PR素材集め

○進路部長より、自己PRの必要性を理解させる



○自分の進路希望を念頭に置き、シートに書き込むことにより、自分自身を分析する



○そのあと、グループでのシェアリング

☆自分の強みを知ることで、進路実現に活かす

自慢したいこと

趣味
好きなこと

クラブ・部活・サークル

習い事

学生時代楽しかったこと

自己PRの材料集め

学生時代辛かったこと

自分のいい所

自分の直したいと思う所

やりたい仕事

できなかったことができて、
嬉しかったこと

絶対やりたくない仕事

生徒の感想

- ・ ふうにいっぱい書いて、あれは楽しかった
- ・ なかなかおもしろい活動だった、またできたらいいな
- ・ 友達と話し合いながらの活動は結構好きです
- ・ 紙に書いて自分の考えが整理できた
- ・ はじめはわからなかったけど、やってみてとても良かった
- ・ 勉強だけでなく、人とのコミュニケーションが役に立つ
- ・ 進んで作業が自分なりにできたから
- ・ 自分がしていることや考えていることを振り返ることは大事だと思った
- ・ 周りの人の一面を改めて認識できた

教員の感想

- ・ これから直面することなので、真剣に取り組んでいた

満足度 56点

定時制3年次②

7月6日 面接対策

○進路部長より、面接・小論文の時事問題の必要性についての話



○前回作成した自己PR素材を参考に、面接・小論文シートに記入して、グループでシェアリング

面接・小論文対策シート 時事問題編

記入日 2014年 7月 6日 ホーム [REDACTED]

① あなたの進路希望を書いてください。

① 進学 ② 就職 ③ 未定 → 番号 ()

①、②の場合、学校・学部学科名、職種名 → パソコン・関電・YE 5

② あなたの興味・関心のある時事問題を3つあげてください。

① 選挙権年齢を18歳以上に引き上げ

② リーダー犯罪を減らす

③ 活況化する日本の活火山

*専攻分野や職種が決まっている場合は、それに関連する問題を記入する。なお、事件・スポーツ・芸能等に
関することは、それらが社会的な影響を持つ場合や、自分の専攻分野と関連のある場合を除き、回答として
適当でない。この質問は、あくまで受験生の社会意識を見るためのものである。

③ ②の3つの回答のうちから、1つ選んで説明してください。(番号: ①)

私は選挙権年齢を18歳以上に引き上げることに賛成です。理由は、18歳以上の若者が選挙権を持つことで、社会の未来をよりよく考えることができるからです。

*ポイント 時事問題について、まずその「事実」を述べ、次にそれについての「意見」を述べる。「事実」と「意見」を区別することが重要。

④ 実際に面接練習をしてみよう。

生徒の感想

- またこの授業をしたい
- 今後のために必要なことがわかった
- これから必要なことを考えれたと思う
- あまり頭を使いたくなかった
- 思いつかない事もあったけど、うまくまとめることができたので良かった
- 勉強になることが多かった、自分の武器になる

教員の感想

- 積極的に質問しながら、真剣に書類作成に取り組んでいた

満足度 52点

定時制 後期LH SST計画

1年次・2年次・3年次

10月5日 頼み方・断り方

☞ 新たな集団でのコミュニケーションスキル
(リーダーシップ・断り方・頼み方等)

11月16日 学園祭に向けて

☞ ホーム模擬店での役割分担でのスキル
(買い物・呼び込み・調理・装飾等)

本校においての学園祭の役割

全校を6つの縦割りグループに分け、新たな集団の中で、それぞれの目標に向けリーダーを中心に活動をする・・・リーダー研修

➡ 小集団（各ホーム）からより大きな集団（異年次グループ）への移行

目的を持った集団の中での社会性が問われる場面が増加・・・LHでのSSSTへ繋げる

リーダー研修の役割

- これからリーダーシップを発揮したり、フォロワーとして盛り上げ役になったりしていく生徒たちに、その意義や責任感、連帯感を共有させる
- 学園祭を成功させるために、縦割りグループでの活動のリーダーとして、そのグループをけん引する原動力となる

リーダー研修の振り返り

楽しく受けることができたか	とてもできた	9	半分くらいできた	6	あまりできなかった	0	できなかった	0	よくわからない	0
目的を達成することができたか	とてもできた	5	半分くらいできた	8	あまりできなかった	2	できなかった	0	よくわからない	0
生徒の為に学校づくりとしてリーダー研修を続けていくことは必要ですか	とても必要	7	必要	7	あまり必要でない	0	必要でない	0	よくわからない	1

- 視点を変えて考えてみる事もよいと思った
- 夏休みに研修があれば
- 意見が言えてよかった
- 学園祭や学校のことを前もって話していく事で、計画的に進めていけるのでよいと思う
- 考えることはよい
- リーダーを支えるフォロワーは大事だと気付きました
- これからの学校改善など必要だと思いました
- この学校の新しい一面に気づけてよかった

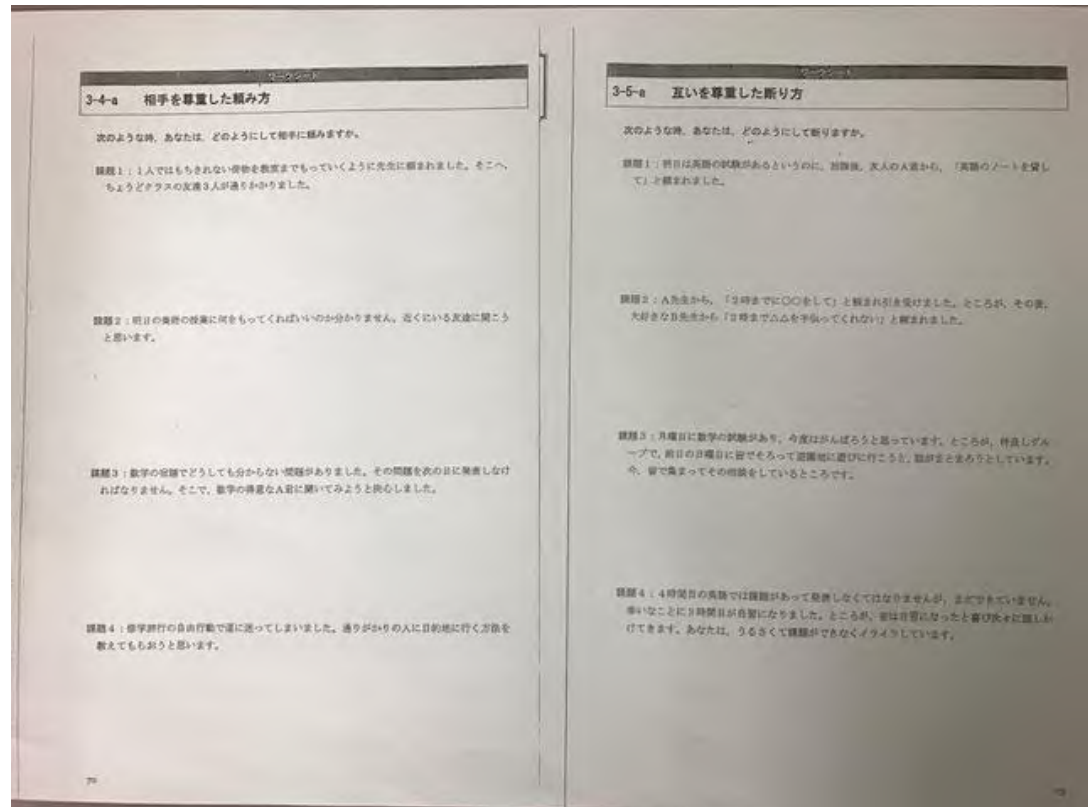
定時制 1～3年次③

10月5日 頼み方・断り方

○ワークシートにていろいろなシチュエーション問題を生徒に選択させ、対応の仕方を記入させる

○生徒の案を利用し、断り方・頼み方の例を、教員生徒一緒になって実演

○感想を書く



定時制 1 年次③

生徒の感想

- ・ 断り方などは役立つと思うのでいい経験になった
- ・ もう少しまじめにやってもよかったなあ
- ・ すごく楽しかったし、勉強になった
- ・ 改めて考えることができ、役に立ったと思う
- ・ 上手に頼むことを心がけようと思った
- ・ 人とのかかわり方が知れてよかった

教員の感想

- ・ 前での実演時には全員が集中できていた
- ・ 断るということをしない（できない）生徒が多いことがわかった

満足度 63点



定時制2年次③

生徒の感想

- ・ 頼みから話ができる人が増えたらいいなあ
- ・ 人によって態度を変えるのはきびしい
- ・ 少しめんどいと思ったけど、楽しかった
- ・ 現実に入りうると思った
- ・ 相手への接し方は大事だと思う
- ・ なんとなく使えるかな
- ・ 互いの意見が聞けてよかった



教員の感想

- ・ 個々で考えることはできるが、話し合いになると遠慮しているようである

満足度 74点



定時制3年次③

生徒の感想

- ・頼み方・断り方、考えるのが難しかった
- ・いろいろな人から何かを頼まれたときに使うと思う
- ・たまにはこういう活動もいいかも
- ・人との会話がうまくなる
- ・自分だけでなく相手の意見や気持ちも分かってあげるのも勉強だし、自分のためにもなる

教員の感想

- ・グループでの意見交換時には、なかなか意見がでず、紙を回すことでなんとか交流ができた

満足度 38点



①学園祭に向けての活動（縦割りグループでの話し合いや作品作成・ホームでの模擬店の準備・前夜祭・当日の当番、体育館での発表等）で、必要になると思われることに○をつけてみよう。

- ・上手な頼み方 ・上手な断り方 ・相手の意見を聞く ・自分の意見を主張できる
- ・話したことがない人と話ができる ・わからないことを質問できる ・協力する
- ・人前で自分を表現できる ・約束を守る ・時間を守る ・人のせいにしない
- ・悪口を言わない ・お客さんにあいさつをする ・お客さんに笑顔で対応する
- ・調理室でのきまりを守る ・買い物に行く ・けがなどしないよう注意する
- ・自分の役割に責任を持つ ・衛生面に気をつける ・楽しい雰囲気づくり ・計画をたてる
- ・わかりやすいポスターづくり ・リーダーシップをとる ・周囲の状況を考えた行動をとる
- ・困ってる人がいたら助ける ・元気よく活動する
- ・その他

② ①の中で、自分にとって得意な項目はなんですか？思い当たることを全て書いてみよう。

③ ①の中で、自分にとって苦手な項目はなんですか？思い当たることを全て書いてみよう。

④ ③について、どんな風に変えてみたいですか？

④ 周りの人と、よりよい学園祭の活動になるよう意見交換してみよう。

定時制1～3年次④

• 11月16日 学園祭に向けて

○ワークシートを使い、学園祭において向き合わないといけなくなりそうな事柄にチェックを入れる

○自分の得意・不得意を考え、グループごとに意見交換をする

() ホーム 氏名 ()

① 学園祭に向けての活動（縦割りグループでの話し合いや作品作成・ホームでの模擬店の準備・前夜祭・当日の当番、体育館での発表等）で、必要になると思われることに○をつけてみよう。

- ・上手な頼み方 ・上手な断り方 ・相手の意見を聞く ・自分の意見を主張できる
- ・話したことの無い人と話ができる ・わからないことを質問できる ・協力する
- ・人前で自分を表現できる ・約束を守る ・時間を守る ・人のせいにならない
- ・悪口を言わない ・お客さんにあいさつをする ・お客さんに笑顔で対応する
- ・調理室でのきまりを守る ・買い物に行く ・けがなどしないよう注意する
- ・自分の役割に責任を持つ ・衛生面に気をつける ・楽しい雰囲気づくり ・計画をたてる
- ・わかりやすいポスターづくり ・リーダーシップをとる ・周囲の状況を考えた行動をとる
- ・困ってる人がいたら助ける ・元気よく活動する
- ・その他

② ①の中で、自分にとって得意な項目はなんですか？思い当たることを全て書いてみよう。

③ ①の中で、自分にとって苦手な項目はなんですか？思い当たることを全て書いてみよう。

④ ③について、どんな風に変えてみたいですか？

④ 周りの人と、よりよい学園祭の活動になるよう意見交換してみよう。

定時制1年次④

生徒の感想

- ・ 自分ができるとはチャレンジしたい
- ・ 学園祭成功させたい
- ・ もっと意見だしていこう！
- ・ こういう活動はいいと思うよ
- ・ 学園祭の話し合いできてよかった
- ・ スムーズに進めるためにはこれ必要



満足度 61点

定時制2年次④

生徒の感想

- 自分の苦手がわかった
- 初めての人と話す機会が増えるから
- 自分の振り返りになった
- 目標を決めることができた
- どうやればいいのか考えました
- 積極的に動かないといけないと感じた
- みんなの絆が深まった気がした

満足度

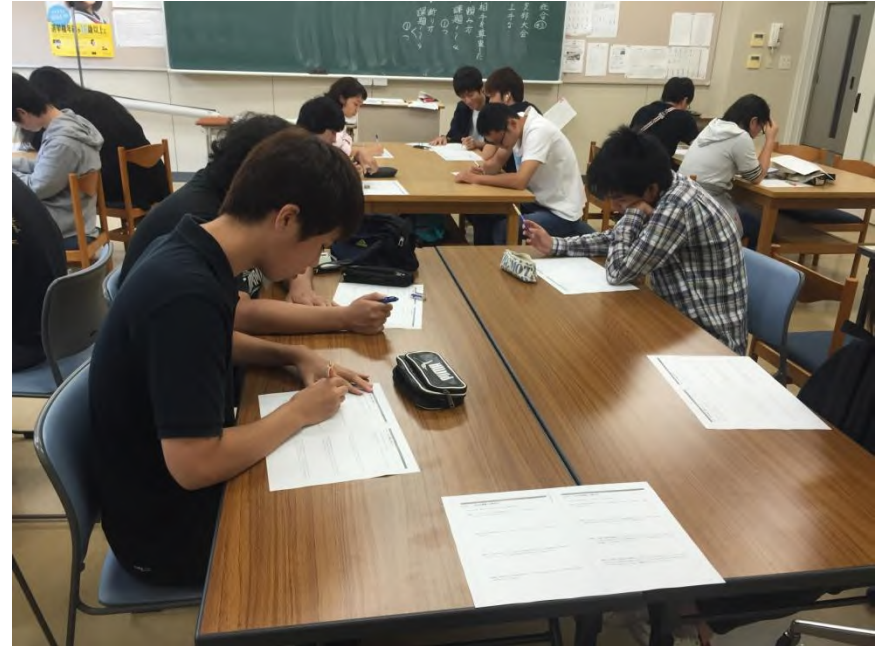
66点



定時制3年次④

生徒の感想

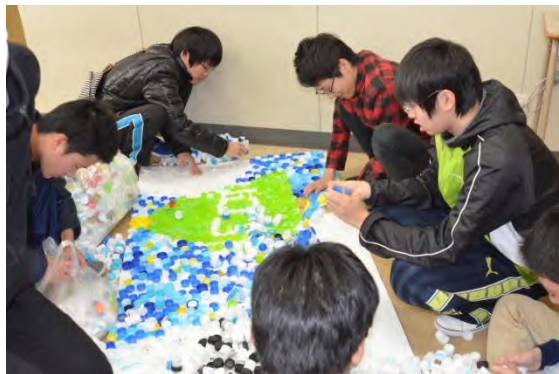
- 当日は何がおこるかわからん
- 得意なものを選ぶのはいいと思った
- 全員で楽しんで記憶に残る学園祭にしたい
- 協力するのに必要だから
- 学園祭大変そう
- 書いただけの活動やった
- 自分のためになる
- 人との関りがあるから



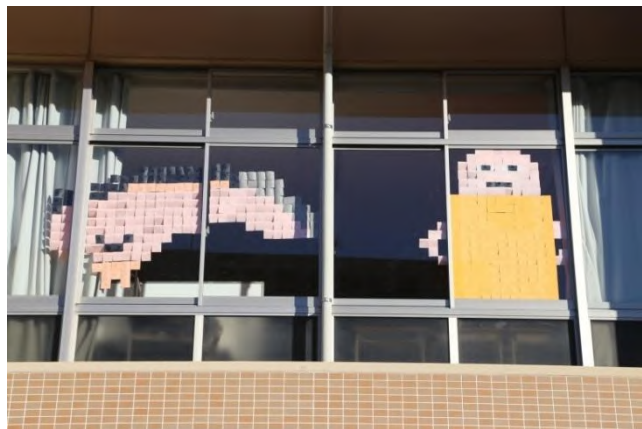
満足度 51点

縦割りグループでの活動

ポストイット・アーチ・クリスマス前夜祭・キャップ・コンテスト・映像の6つのグループでの活動



12月17日 学園祭



定時制1年次

• 12月17日 学園祭

生徒の感想

- 先輩に手伝ってもらってうまくいった
- イベント自体楽しかった
- 普段できないことができて楽しい
- みんなと協力できたから
- 下準備の大切さを知った
- 知らない先輩と仲良くなった
- 接客がよい経験になった
- 試行錯誤してできたときは嬉しかった
- 最初はできないと思ってたけど、自分ではできるんだと自信がついた
- 最後まであきらめずにやれてよかった
- 販売や調理の経験は役に立つ
- 作業は大変だったけど、積極的に参加できてよかった

満足度 67点

定時制2年次

・ 12月17日 学園祭

生徒の感想

- ・ 準備の広告作り楽しかった
- ・ 自分が成長できた
- ・ 知らない人と話できた
- ・ 人と関わってよかった
- ・ 忙しかったけど、最高の思い出ができた
- ・ どういうふうに手伝ったらいいかわかった
- ・ やりがいがあるって、来年もしたい
- ・ どうしたらいいか聞いてくれて心地よかった
- ・ もう少しこえを出せたらよかった
- ・ キャーキャーいいながら楽しめた
- ・ 自分からどうして欲しいか言えた

満足度 82点

定時制3年次

・ 12月17日 学園祭

生徒の感想

- ・ みんなが本気でがんばっていた
- ・ 自慢できそうと思う
- ・ まわりを見て動けた
- ・ みんなで同じ目標に向けて協力できた
- ・ 団体行動での役割分担の大切さを知れた
- ・ しっかり予定を立ててやりたかった
- ・ もくもくと作業出来てよかった
- ・ お客さんがたくさん来てくれてよかった
- ・ 紙飛行機、よかった
- ・ みんなの歓声すごく嬉しかった
- ・ 最高に楽しい一日でした

満足度 68点

教員アンケート

- ・ 上級生が下級生に声をかけてやり方を教える場面が見られた。いろいろな人と交流できる場面があることは生徒にとっていい機会になると思う
- ・ 状況に応じて自分で判断して動ける生徒がいて
できていない班へは、できた班が自主的にフォローして完成させていた。助け合う力があってよい
- ・ 相手に情報をきちんと最後まで伝える（説明できる）力がまだ備わっていない
- ・ （模擬店で）周りの生徒が認め、励ましているシーンが見られた
- ・ それぞれの生徒が自分の得意なところ活かして、それが他者から認められる、よい体験になっている
- ・ 他者理解や自分の行った事が認められるという自己受容が形成されていく姿が見られた
- ・ 自分から「何かやることない？」と聞ける生徒が少ない

本年度を通しての成果

- グループで意見を交換する習慣が少しずつ定着して、自分の意見を発表することに抵抗が少なくなっている
- 事前に見通しを立てることによって、心構えができ、やるべきことが準備できてきたことにより、今までできなかった社会的スキルを手にいれた生徒もでてきた
- 先輩・後輩の枠を超え、絆を深めていく場面が多く見られ、全体としてコミュニケーション力の向上が感じられる

今後の課題

- ・ホーム担任の工夫に頼る要素が大きく、負担もかけた
⇒年次会等開催して、第三者の目線も活用する
- ・生徒自身の目線に立ち、今関心があり、必要であろうテーマを取り上げ、活動自体が活発になるような工夫が必要
- ・学園祭の実施・運営に生徒がもっと主体的に関われる工夫が必要

自立支援プログラム

生徒の自立

社会性の育成

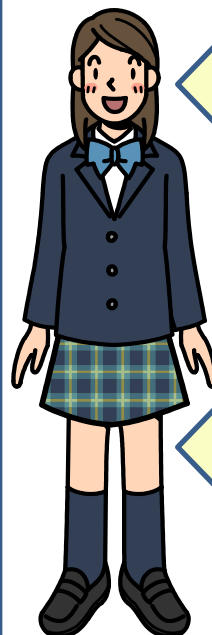
基礎学力の育成

〔個別〕
COM講座
個の課題に応じて
自主的に

〔集団〕
LHR活動
具体的・体験的
気づき



自立
に
向
け
て



〔個別〕
スタディルーム
個の課題に応じて
自主的に

〔集団〕
授業のなかで
わかる授業
学ぶ楽しさ

※ COM:コミュニケーション講座

自主講座『コミュニケーション』

1. 目的

- (1) 人を信頼することやコミュニケーションの苦手な生徒に話し方や聞き方、あいさつの仕方などのスキル・トレーニングを実施することにより、その改善を図る。
- (2) スキル・トレーニングを通して、生徒の自己肯定感や自己効力感を育む。



2. 対象

- (1) 全生徒に広報し希望者を募る。
- (2) 希望を前提とするが、職員からみてスキル・トレーニングが必要だと思われる生徒には参加を促す声かけを個別に行う。



自主講座『コミュニケーション』

3. 実施方法

- (1) 年間10回実施
- (2) 1講座50分程度
- (3) 希望者が一人の場合も実施
- (4) テーマと内容は、CoとSSWで事前に協議
- (5) 実施日時やテーマは、事前にポスター掲示で生徒に周知
- (6) 講座の進行はCoがFA1、SSWがFA2になり
実施

教育相談コーディネーター(Co)
スクールソーシャルワーカー(SSW)
ファシリテーター (FA)

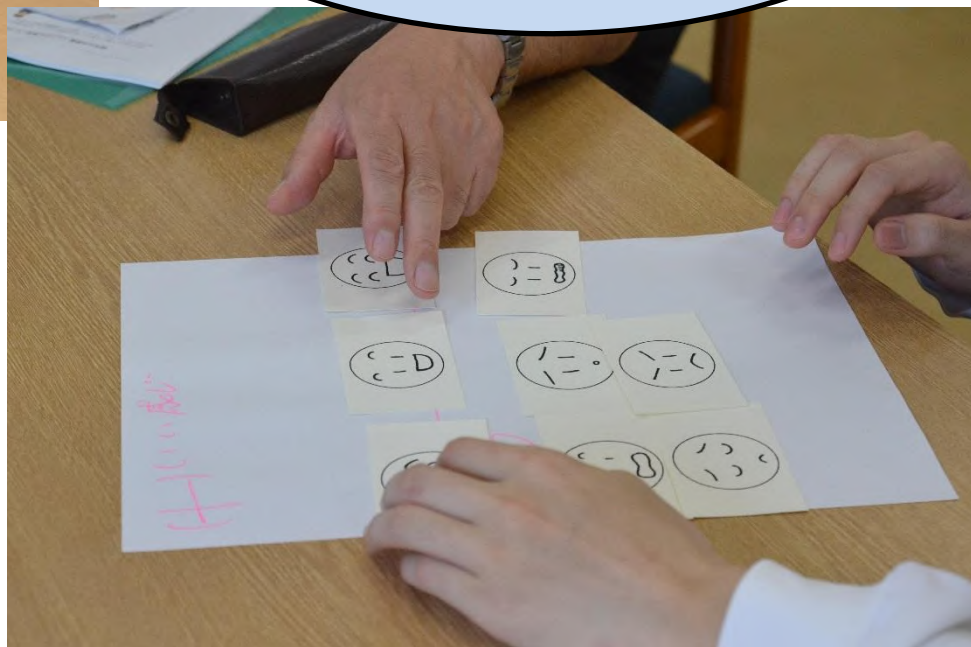
自主講座『コミュニケーション』: 実施内容

回	日時	テーマ
第1回	5月26日	互いを知ろう！
第2回	6月16日	コミュニケーションとは(双方向、できごとと気持ち)
第3回	6月23日	あいさつ(ことばかけ、距離)
第4回	7月 5日	会話を継続させる話題とは①
第5回	7月12日	会話を継続させる話題とは②
第6回	10月 6日	質問の仕方[オープン・クエスチョン]
第7回	10月13日	会話を楽しむ
第8回	11月10日	頼み方・断り方
第9回	12月 8日	リラクセーション
第10回	1月19日	仲間の良さを引き出す

こんな感じでやっています！ その①



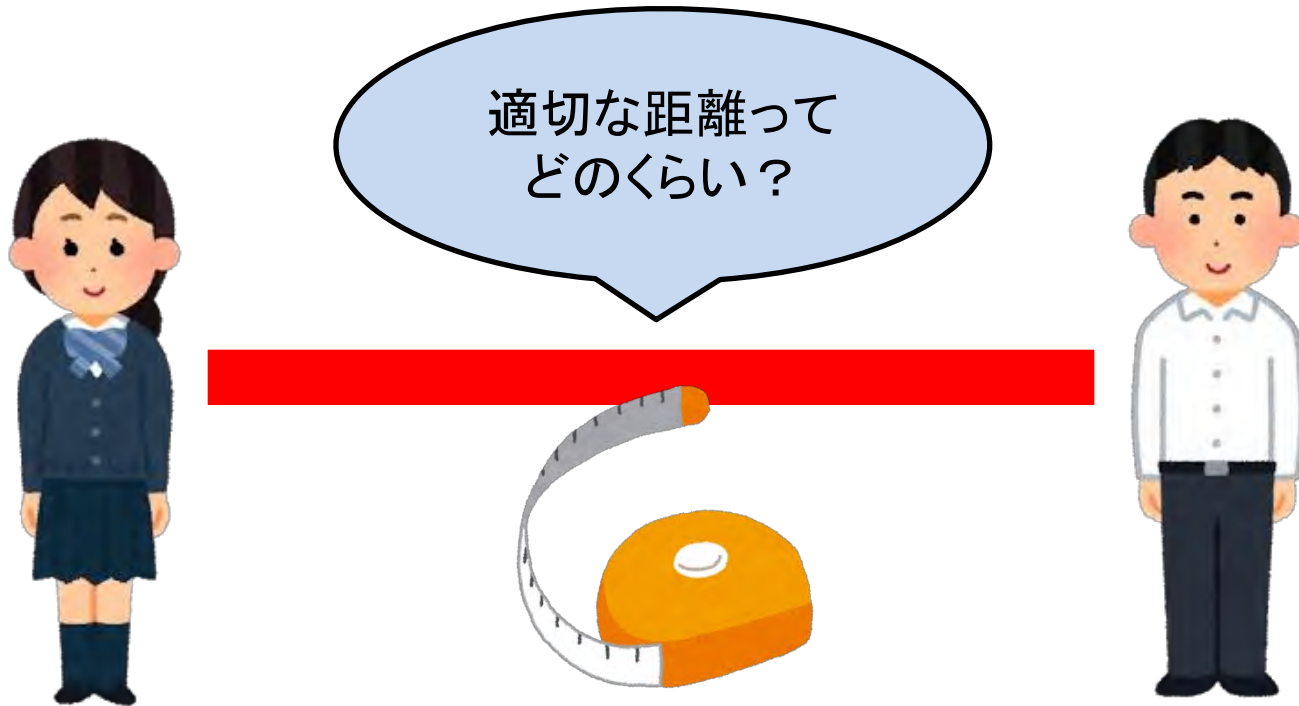
挨拶に一言を添えて
みよう！
今日の天気を言葉
で表現できるかな？



第4回 6月23日

テーマ:あいさつ
(言葉がけや距離)

こんな感じでやっています！ その②



第4回 6月23日 テーマ:あいさつ(言葉がけや距離)

実際に、メジャーで距離を測り、人と話をする時の適切な距離を確認しました。

こんな感じでやっています！ その③

友達の誘いを断りたいけど、どう伝えたらいいかな？

クラスメイトと一緒に卓球をしたいけど、どう頼んだらいいかな？



事務室で、在学証明書の発行を頼むのに、どうお願いしたらいいかな？

第8回 11月10日

テーマ：頼み方・断り方

実際に言葉に出して、伝える練習をしました。

基本パターン確認シート

コミュニケーション

上手な頼み方・断り方の基本パターン

上手な頼み方

人に援助を依頼するときに、冷静に的確に具体的に依頼することは意外と難しいものです。感情的にならず、相手への思いやりをこめた依頼の仕方と、その返答についての対応について考えてみましょう。

頼み方の基本的なパターン例

投げかけ	頼み事の内容	頼み事の理由	その結果についての対応
ごめんね 悪いけど	この荷物を運ぶの手伝ってくれない？	ひとりでは運べないんだ。	ありがとう。 無理を言ってごめんね。

※ 理由が短く言える時は、〈頼み事の内容〉の前になってもかまわない。

上手な断り方

人から何か援助を依頼されたり、何かの誘いを受けたときに、相手の心情を害しないように、そして自分自身の立場をも冷静に的確に伝えて、その依頼を断ることは意外と難しいものです。感情的にならず、相手への思いやりをこめた上手な断り方（人間関係を壊さないで、自分の判断を伝える）を考えてみましょう。

断り方の基本的なパターン例

応答	断り	理由	代案の提示
ごめんね 悪いけど	私にはできない。 私はしたくない。	時間がないから 私にはできないから それはいけないと 思うから	また今度ね。 〇〇さんならできるかも 別の方法を考えたら

※ 理由が短く言える時は、〈断り〉の前になってもかまわない。

※ 人からの依頼や誘いを全て受け入れることはできません。断らざるを得ないときには、はっきりと断ることができるようになることも大切なことです。特に、悪いことの誘いには、はっきりと、あっさり断ることが大切です。

☆ 頼んだり断るときに、こころがけること

1. おだやかな表情で話す（表情）
2. 相手を見て考えを素直に言っている（相手を見る）
3. きちんと聞こえる声で言っている（声の大きさ）
4. 距離がいい（相手との距離）

ワークシート

コミュニケーション

上手な頼み方・断り方（ワークシート）

次のような時、あなたは、どのようにして相手に頼みますか。

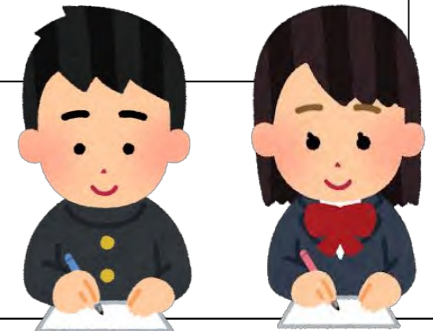
課題1：今、体育の時間です。私は卓球がしたいと思っています。友だちに相手をしてくれるように頼みたいと思っています

課題2：親が勤めている会社に私の在学証明書を提出しなければならないそうです。学校の事務室で、在学証明書の発行を頼まなければならないと思います。

次のような時、あなたは、どのようにして相手に断りますか。

課題1：友だちから未だ読み終わっていない本を、「私、この本読みたかったんや。貸して!」と言われました。

課題2：友だちグループで、『今から、お化け屋敷に行こう』と話がまとまろうとしています。ところが、私はお化けがとても苦手です。絶対に行きたくありません。



こんな感じでやっています！ その④

第10回 1月19日

テーマ：仲間の良さを引き出す

- ・良さを引き出す、良さを見つける質問
- ・メンバーの良さをカードに書いて、直接伝えました。

〇〇さんへ
□□という夢はとてもステキだと思います。夢にむかって頑張ってください。



自主講座『コミュニケーション』: 実施結果

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
参加者数	5名	2名	2名	3名	2名	2名	2名	4名	2名	2名
満足度	64.0	75.0	55.0	66.7	60.0	90.0	90.0	72.5	82.5	87.5

【参加者の感想】

- ・始める前は不安だったが楽しかった。
- ・話の内容だけでなく、表情・声の大きさ・トーンなどで伝えやすいことが分かったり、伝えたりできることが分かった。
- ・距離について考えるのが難しかった。
- ・何を話題にすればいいのか分かった。
- ・今の自分ならいろいろな話題を人にふることができると思ったので少し嬉しかった。
- ・自分の意見を積極的に言えたのはよかった。



【参加生徒の様子】

《Aさんの場合》

- 3回目くらいまでは、視線をそらし身体にも緊張がみられた。
- 講座が進むにつれて、顔も上がり視線を交わすこともでき、身体の緊張の程度も弱くなってきた。
- 講座の後半になってくると、自ら話しかけることもできるようになってきた。
- まだ、会話に堅さがみられる。
- 講座外でも、FAとの会話が続くようになった。



【参加生徒の様子】

《Bさんの場合》

- 最初の頃は、顔が下を向いていたが、だんだんと顔を上げて参加できるようになった。
- 講座で練習したことを実際生活の場面で、活かすことができた。



自主講座『コミュニケーション』: 課題

【成果】

- 肯定的な評価がほとんど。
- 参加者の課題に応じた内容で実施できた。
- 継続して参加した生徒には、それなりの成長がうかがわれる。

【課題】

- 参加者が少ない。 **〔必要としている生徒は多い〕**
- 職員や生徒への実施日と内容の周知。
- 実施日と時間帯。
- より生徒の課題に応じたテーマや内容の再検討。

地域連携プログラム

大学との連携

地域との連携

生徒の自立



学習支援員
ピア・サポーター



ボランティア活動

キャリアコンサルタント

SC

自立に向けて

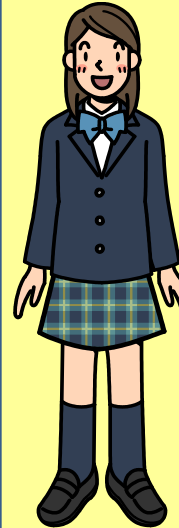
DAC

太平洋学園
教職員



コーディネーター

SSW



中学校 教育センター 児童相談所

福祉事務所 病院 警察

サポステ、など

支援機関との連携

